

# 平成26年度 道路安全性検討委員会 開催概要

■日時：平成27年3月2日(木) 13:00～15:00

■場所：新潟国道事務所 B棟大会議室

## ■議事次第

1. 開会あいさつ

2. 議事

・平成25年度道路安全性検討委員会における主な意見に対する対応方針

・平成26年度道路安全性検討委員会審議事項

(1) 事故ゼロプランの進捗状況

(2) 目標達成度評価

(3) 事故危険区間の追加選定

(4) 事故ゼロプランの広報

(5) 事故対策効果データベース

(6) 来年度以降の事故ゼロプランの進め方

3. その他

4. 閉会

## ■出席者(敬称略)

- |      |                               |        |
|------|-------------------------------|--------|
| 委員   | 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授          | △浅倉 有子 |
| 委員   | 公益財団法人新潟県女性財団 理事長             | 大島 煦美子 |
| ○委員  | 長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授           | 佐野 可寸志 |
| 委員   | 株式会社新潟日報社 取締役 特任論説編集委員        | △鈴木 聖二 |
| 委員   | 新潟県ハイヤー・タクシー協会 専務理事           | 鈴木 久夫  |
| 委員   | 公益社団法人新潟県バス協会 専務理事            | 高橋 清吉  |
| 委員   | 公益社団法人新潟県トラック協会 専務理事          | 浅間 博   |
| 委員   | カミフル・サイクルステーション               | △高橋 正良 |
| 委員   | 有限会社ミカユニバーサルデザインオフィス          | 長谷川 美香 |
| 委員   | 新潟県警察本部 交通部 交通規制課長            | △大桃 正明 |
|      | (代理)新潟県警察本部 交通部 交通規制課 交通規制管理官 | 三五 紀男  |
| 委員   | 北陸地方整備局 道路部 道路計画課長            | △掛井 孝俊 |
| 委員   | 北陸地方整備局 道路部 道路管理課長            | 土田 稔   |
| 委員   | 北陸地方整備局 新潟国道事務所長              | △近藤 淳  |
|      | (代理)北陸地方整備局 新潟国道事務所 副所長       | 樋口 智   |
| ○委員長 | △欠席                           |        |

## 【オブザーバー】

- ・新潟県 土木部 道路管理課長(代理:新潟県 土木部 道路管理課長補佐)
- ・新潟市 土木部 土木総務課長(代理:新潟市 土木部 土木総務課長補佐)

## 議事要旨

### 平成26年度 道路安全性検討委員会

#### ■委員会での審議事項

- ・平成25年度道路安全性検討委員会における主な意見に対する対応方針
- ・平成26年度道路安全性検討委員会審議事項
  1. 事故ゼロプランの進捗状況
  2. 目標達成度評価
  3. 事故危険区間の追加選定
  4. 事故ゼロプランの広報
  5. 事故対策効果データベース
  6. 次年度以降の事故ゼロプランの進め方

#### ■審議内容

- ・平成25年度道路安全性検討委員会における主な意見に対する対応方針

<検討内容>

- ・平成25年度道路安全性検討委員会において挙げられた主な意見に対する課題と、今年度の対応方針について説明。

<委員からのご意見>

- 特になし。

- ・平成26年度道路安全性検討委員会審議事項

#### 1. 事故ゼロプランの進捗状況

<検討内容>

- ・事故危険区間リストの進捗状況判定方法と、その判定方法に基づいて行った平成25年度登録257区間の進捗状況判定結果（平成27年1月末時点）について説明。

<委員からのご意見>

- 特になし。

<今後の対応>

- 今後も同様の方法で進捗状況判定を実施する。

## 2. 目標達成度評価

### <検討内容>

- ・新潟県事故ゼロプランにおける達成度評価の目標値および「新潟県内直轄国道全体の削減効果」、「事故危険区間全体の削減効果」、「事故危険区間の個別区間ごとの削減効果」の評価結果について説明。また、その代表事例について紹介。

### <委員からのご意見>

- 特になし。

### <今後の対応>

- 今後も同様の方法で目標達成度評価を実施する。

## 3. 事故危険区間の追加選定

### <検討内容>

- ・「対策完了」と判定された35区間を除外区間リストへ移行し、「最新データの反映」、「交通安全上問題のある区間」、「地域からの意見」によって選定された7区間を新たに追加。これにより計229区間を平成26年度の事故危険区間として登録する予定であることを説明。また、そのリスト、代表事例について紹介。

### <委員からのご意見>

1. 道路利用者アンケートにおけるインタビューアンケート数について、昨年度に比べて今年度の回収数が少ないのでは。
2. 事故危険区間の新規追加箇所が年々減ってきているが、今後、選定条件を緩める・重大事故に着目する等、スクリーニングの視点を変えてもいいのではないかと。
3. 道路利用者アンケートについては、数だけではなく、女性の意見を聞くなど、バラエティに富んだ意見の収集もした方がいいのでは。

### <今後の対応>

1. 今年度はインタビューアンケートの実施時期が遅く、天候にも恵まれなかった。次年度以降はより早い時期での実施を検討する。
2. 選定条件を緩める・重大事故に着目する等の選定条件の修正について、今後検討する。
3. 道路利用者アンケートについては、多種多様な意見が収集できるよう、配布先などを検討する。

#### 4. 事故ゼロプランの広報

##### <検討内容>

- ・事故ゼロプランの広報として、ハガキアンケートの PR ツールとしての工夫、簡易版事故危険区間マップ（ちらし）の配布、事故ゼロプランホームページ、現地における事故ゼロプランの PR 強化、認知度、新たな広報計画（バナー設置、市町村広報誌による広報の検討）について説明。

##### <委員からのご意見>

1. バナーの設置は、新潟県にはお願いをしていないのか。
2. マスコットを公募するなどして、事故ゼロプランの新たな広報考えてみたらどうか。
3. パンフレットの内容が少し伝わりづらい。事故ゼロプラン開始から5年経ったことだし、新しい切り口でPRしていった方がいいのではないのか。

##### <今後の対応>

1. 新潟県へはまだ打診していないため、今後、調整を図る。
2. マスコットは難しいかもしれないが、何か付加価値を付け、参加する方にメリットがあるような、広報の方法も検討する。
3. より住民の皆様が興味を持って頂けるようなパンフレットの内容・PR方法について検討する。

#### 5. 事故対策効果データベース

##### <検討内容>

- ・事故ゼロプランのこれまでの成果を今後の事故対策に反映させるため、事故対策効果データベースを作成。作成した内容について説明。

##### <委員からのご意見>

- 新潟県以外でも同様の取り組みをしているのではないかと思うが、データの共有は考えていないのか。

##### <今後の対応>

- 他地整でも同様の事例を行っていると思うので、確認を取りながらデータベースの運用をしていく。

## 6. 次年度以降の事故ゼロプランの進め方

<検討内容>

次年度の事故ゼロプランの取組における年間スケジュール（案）を説明。



<委員からのご意見>

○ 特になし。



<今後の対応>

○ 次年度は、提示した年間スケジュールに準じて実施する。